

経営比較分析表（令和元年度決算）

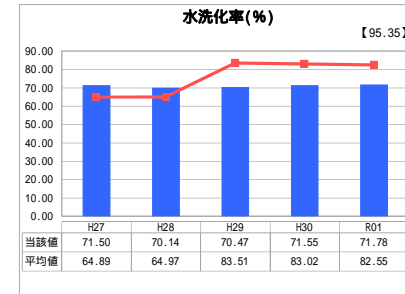
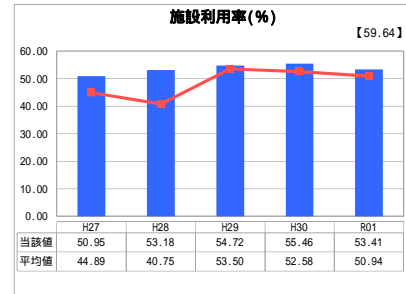
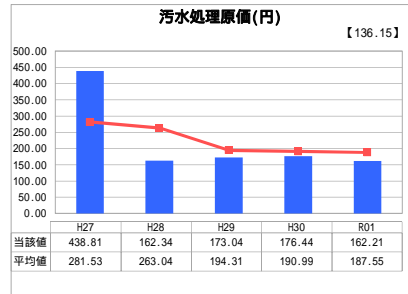
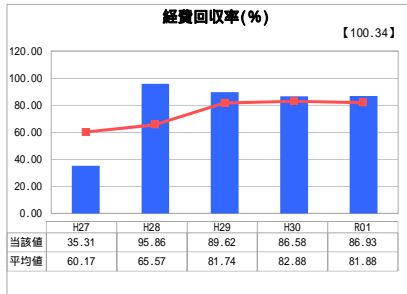
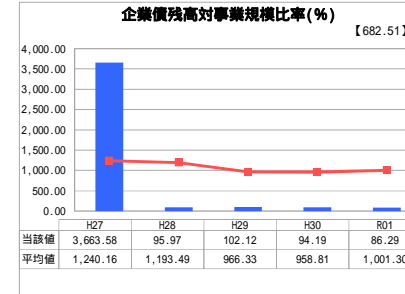
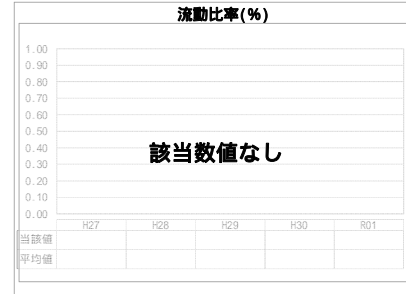
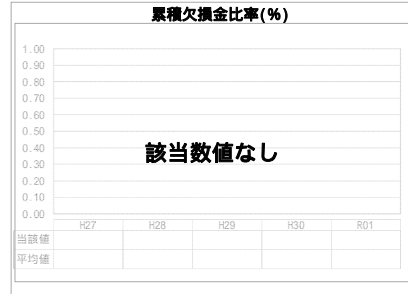
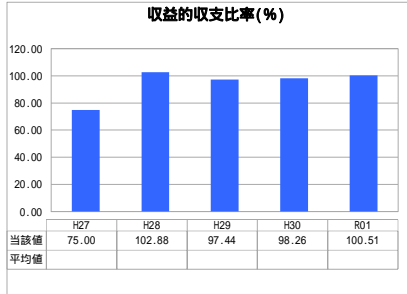
佐賀県 小城市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	23.66	96.41	2,970

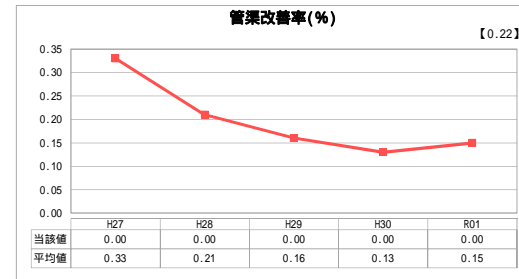
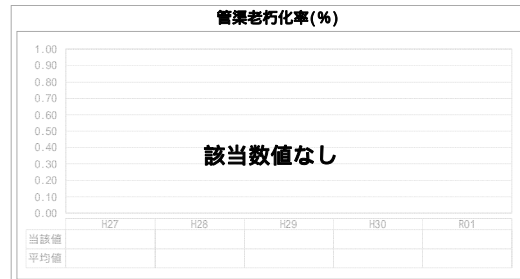
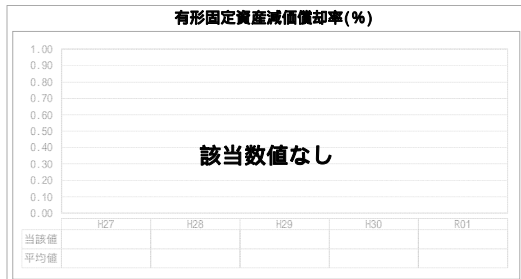
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
45,327	95.81	473.09
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
10,673	3.20	3,335.31

グラフ凡例
当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当市の公共下水道について、収益的収支比率は改善傾向にある。
また、企業債残高対事業規模比率についても、類似団体と比較して低い状態にあるが、今後未整備地区が多いことや処理場の増設により今後も多大な投資が見込まれるため、投資規模見直しの検討が必要である。
経費回収率については、類似団体より若干高く、汚水処理原価も低い状況である。
また、経費回収率は昨年度よりも微増となっているが、100%未満であり、その要因は水洗化率の低さにある。
施設利用率については、類似団体より高くなっているものの、水洗化率については、類似団体より劣位となっているが、その要因は未普及対策事業を行っている最中であり、供用開始して間もない区域も多いためである。
今後は、早期接続を行っていただくよう戸別訪問を行い接続率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

公共下水道の供用開始は平成15年3月28日以降となっており、下水道管に法定耐用年数を超えたものはない状況である。

全体総括

分析の結果、当市の課題は水洗化率の低さにあると思われる。このため下水道に接続してもらえるように、戸別訪問や、PRを強化する必要がある。